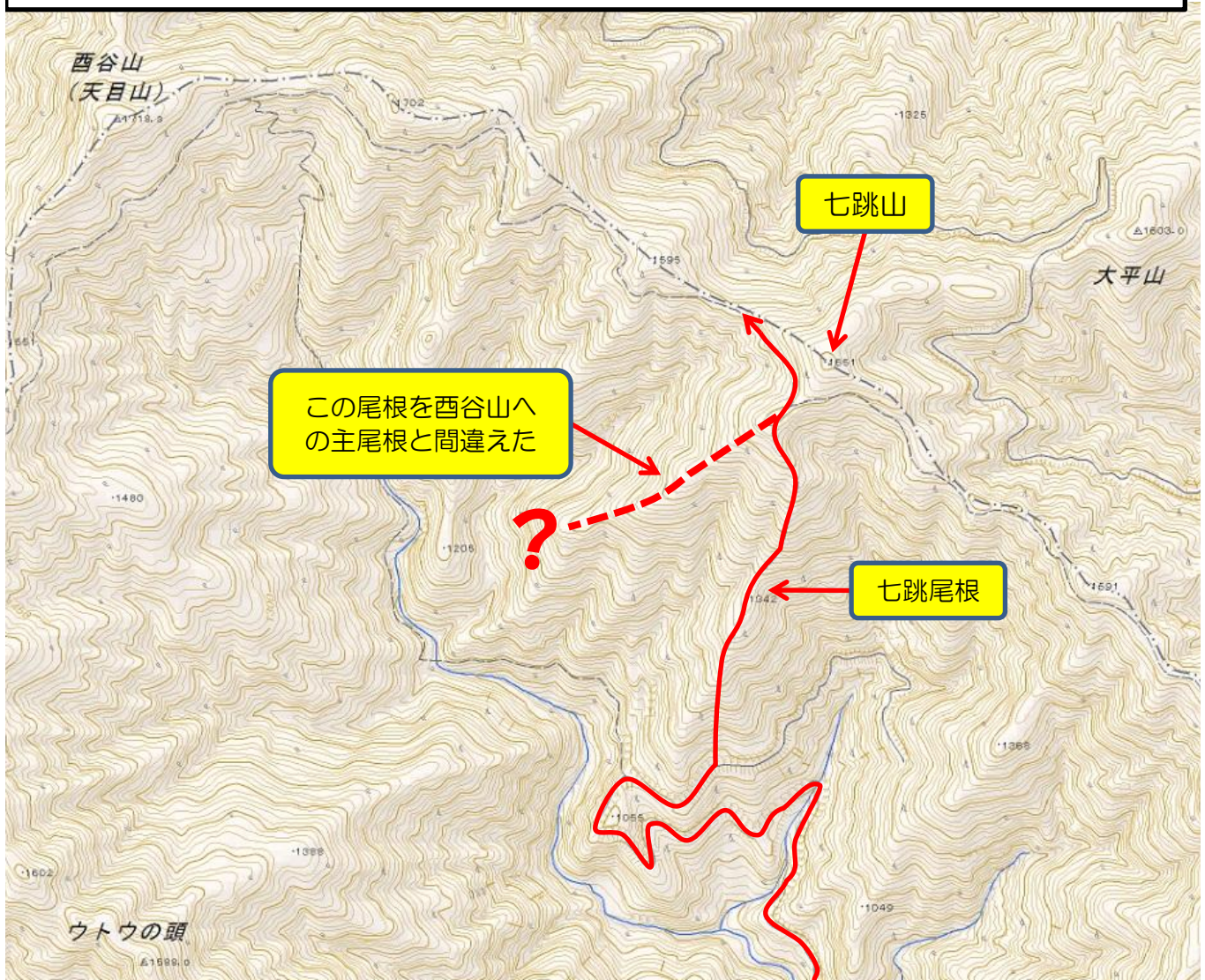


## 七跳山道迷い(2012年8月)

主尾根と七跳山から南西に延びる尾根を勘違い。進むにつれ尾根が二つに分岐し、「おかしい」と思った。分らない先を進むよりも戻った方が懸命と引き返す。ビバークはしたものの冷静に下山することができた。



## 解説

急な登りの斜面から平らが出てきたので、主尾根に出たと勘違い。20分ほど主尾根と思った尾根を下った。しかし、期待した登山道はなく、主尾根らしきは2つに分岐する。判らない先に進むよりは来た所に戻るべし...と下った急斜面を1時間かけて登り直した。七跳山直下あたりと思われる南側に派生する尾根を念入りに一つ一つ精査すべく藪を漕いで進路を西に取った。この時点で天候は悪化し、とうとう大粒の雨が降ってきたのでビバークを決意。持ってきたタープを張り、雨を凌ぐ。雨を水筒に確保し、食料もガスコンロもトランシーバーもある。翌日、斜面を主稜線に向け、登り、踏み跡らしきものを発見。忠実に進んだところ登山道に戻ることができ、事なきを得た。

「あれっ！おかしい」と思った時に、戻るという正しい判断ができた。冷静でいられたのは、装備のお陰もある。大雨の中でもタープを張り、低体温にならないようにすることができた。トランシーバーも持っていた。「あれっ！おかしい」と思った時こそ、「ネガティブ」になってほしい。慎重になってほしい。臆病になってほしい。臆病になればなるほど、どうしたら良いのか考える。知恵が出る。と思う。